

2025 Wcamp8 ワークキャンプ8 9月20日から24日 子どもの椅子作成、講座の補講
黄檗でツールの足づくり、リョウブで名札作り（60）バンドルダイ実験、ステレオの足など

9月20日（土）7時20分、松田の家を出発。道は案外空いていて、八ヶ岳ブレットで美味しいパンを購入。臼田の業務スーパーで買い物。コスモス街道（R254）はコスモスが満開、コロナ禍には観光客も居なかったので、少し寂しい風景でしたが、人も増えて少しウキウキする気分です。

12時50分山荘に到着。天気はあまり良くない、山荘は雲の中、気温14°C。室内は窓際に虫がいる程度で、キレイでした。

各棟の鍵を開けて、荷物をログハウスに搬入。木工作業小屋の玄関近くにある山椒が真っ赤に熟していました。天気が良くなったら収穫します寒かったので、昼食はラーメンをいただきました。



天候は回復基調、コスモス街道から、荒船山・経塚山・兜岩山がくっきり見えています。15時ごろに佐久市内へ行って、一万里温泉でゆっくり手足を伸ばしてリラックス。帰り道にツルヤで買い物。薪ストーブを炊いて、秋の夜長は読書。松原泰道「百歳の禅語」難しい禅語も名僧が説くと、良く理解できます。いつものように、薪ストーブの前に座り、居眠りしてました。



9月21日（日）5時30分起床 外気温15℃ 室内24℃ はれ

今日は安曇野から北澤さんが補習にきます。10月に行う子どものナイフワーク+project&management講座で、どうしても1日参加できないので三日目の講義をマンツーマンで行います。朝食はヨーグルトとフルーツ、ほうじ茶を3杯。



新しく始めた「バンドルダイ」（草木染め）も見ていただきました。

増田さんが12時40分に到着

15時ごろには講義も終了して、北澤さんは帰宅。
16時には一万里温泉と、ツルヤでの買い物そして夕食は野菜炒めとトウモロコシ

9月22日(月) 6時起床 10°C 室内21°Cくもり
朝食はヨーグルト+フルーツとほうじ茶

9時ごろから今日の活動開始。
瀬戸ちゃんが持ってきた黄檗でスツールの足を作成するので、チェーンソーで50センチぐらいに切断し

早めにきてくれたので、早速お休みする3日目の講義を開始しました。

- 1 リスクマネジメントの基礎
 - 2 プロジェクト法（思いを形にする）
 - 3 自分のプロジェクトを考える
 - 4 グリーンウッドワークの全体像など

グリーンウッドワークを自分でやるのか？ 指導者としてその地域で子どもや大人に教えることができるのか。また、その地域で仲間を増やして講座開設するには何が必要なのかそんなことを考えながら自分自身を見つめ直す時間です。

マインドマップは私の頭の中を整理してグリーンウッドワークとはどんな世界なのかを書き出したものです。

資料の整理、どんな講座が出来るか、仲間を作る（講座の開設）、大自然のひろばの活用など2023年春に作成したこのマップに従って活動を進めています。

北澤さんは林業を生業としてグリーンウッドワークで何を求めているのか、自分自身で今後どのような活動をしていくのかゆっくり考えていただきました。





黄檗は素直な木目でしたが、上部10センチぐらいに節目があり、木目が曲がっていました。纖維は素直なので、削るのは容易い材料です。

まずは、四角くドローナイフと斧で削り、八角形から十六角形と足の形に削っていきます。

私は千葉県から依頼のあった木の名札づくり。リョウブの丸太があったのでそれを10mmの厚さに丸鋸で切断して50枚の名札づくり。

リョウブは木目細かく、硬い木なので木目もキレイです。10枚余分に切断して作業終了。梱包して、千葉小枝さんに郵便局から発送。午後は東御にある尾方さんの別荘にナイフ講座で使う椅子を10脚受け取りに行く。



東御の五輪久保はリンゴの名産地、今年もスズなりに真っ赤に熟したリンゴができていました。尾方邸で椅子を受け取り、珈琲を飲みながら情報交換。椅子は講座で組み立てるつもりでしたが、尾方さんが全部組み立てた完成品に仕上げていました。まあいいか

帰り道で「権現の湯」に立ち寄ってリフレッシュ。東御・蓼科には温泉が多いので料金も安価です。大人一人¥500、安いところは¥300ぐらいです。権現の湯は施設も大きく、高台からの眺めが良くて浅間山が正面に見えます。サウナや水風呂、露天風呂まであ



るので、とても気持ちよく快適です。西の空に夕日が沈み、金色に輝いています。

山荘に着いたところには陽も暮れて真っ暗。薪ストーブをたいて夕飯の支度をしながら、ビールで乾杯。

22時就寝。



9月23日(火) 6時30分起床 外気温10°C 24°C

朝食はほうじ茶とヨーグルト。薪ストーブを炊いて温まります。

9時から作業開始、今日は「バンドルダイ」の実験です。まず、場内で採取した植物の葉を同定する作業（植物の種類と名称を確認）ツボ草・くり・山桜・しだるい・ほうばなどと前日にコスモス街道から採取した「コスモス」



使用する綿製のトートバックとポーチを媒染剤浸して植物との反応が良く成るようにします。媒染剤は「ミョウバン（アルミ）」と「硫酸第一鉄（鉄）」布の重さを計測してから、媒染剤をお湯で解いて浸します。手袋をして布を絞ったら焙煎剤が浸透して準備ができた状態です。



次は植物（花と葉）をトートバックとポーチに乗せてデザインします。上下にポリエチレンシートとラップを引いて、水分が侵入しないように（にじみを防ぐ）してから、綿棒に巻きつけてさらにその上からラップをかけてぐるぐる巻きにします。



蒸し時間は60分、温度は100°Cです。自作の蒸し器はかなり性能が良くイワタニの4.1KWコンロで今度のレベル2ぐらいで蒸し温度99°Cで安定していました。

蒸しに使った水は10L（寸胴内）蒸し後の水は8Lだったので、一時間蒸して2L使用。かなり効率が良い蒸し器です。





蒸しあがった棒（布）は熱いので、トングを使用して取り出します。冷めてからラップ類をといて染め具合を確認しました。

よく色が出ているのは「くり」「さくら」「コスモス」などです。季節によっても違いがあるので四季を通じて実験が必要です。また、押し花（押し葉）を使用することができるので次回は押し葉を試します。上段が蒸し上り状態。下段は布に転写した状況。



バンドル代の実感は成功しました。蒸し器の性能も使用する水の量（減る量）確認できました。中間に入れた網が目の細かいものだったので、蒸気は上がるけど水分は鍋に落ちているようです。繋ぎ目からの漏れも少なく、タオル二枚を使用して無駄に漏れるのを防いでいます。今回は量が少ないので一段しか使用しませんでした。10本は入るので、これで親子のバンドルダイの機材は揃いました。

9月24日（水） 5時30分起床 10°C 快晴

朝食はヨーグルトにいちごジャム+牛乳そしてほうじ茶。

テーブルにはコスモスを置いた。花があると良いですね、帰ったら花瓶を購入しよう。

木工作業所の入り口にある山椒が実をつけて赤く熟している、採ってきて包丁で刻んでみたら、なんと華やかな香りと食してみると刺すような辛味（良い味）があり、これは美味しい。楽しみが増えました。



10月の講座準備とバンドルダイの実験も成功して、大自然のひろばは快適な場所になりました。

ホール・木工作業所・ログハウスの片付けをして、施錠。天水ポンプの電源停止。荷物を車に積んで帰宅準備を行い、8時30分に横浜に向けて出発しました。

小海線の線路はまっすぐ、秋晴れの咲く市内でした。

次回は「子どものナイフワーク指導者養成講座+project&management」10/11-14を実施します。

